

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 3 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 新編数学 I [数研出版]、新課程教科書傍用 3 TRIAL 数学 I +A [数研出版] ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や法則などについて理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察・表現し、処理する方法を身につける。事象を数学的にとらえ、論理的に考え、よりよく問題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学的活動を通して、数学の論理や体系に関心をもち、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用する態度を育てる。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	数と式 多項式の加法と減法 多項式の乗法 因数分解 実数 根号を含む式の計算	式を、目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におき換えたりするなどして既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりする力を培う。中学校までに取り扱ってきた数を実数としてまとめ、数の体系についての理解を深める。その際、実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解するとともに、簡単な無理数の四則計算ができるようにする。	【知識・技能】 各項目についての基本的な内容を理解し、例題レベルの問題を解くことができる。 【思考・判断・表現】 各項目の応用例題レベルの問題を理解したうえで、問題を解くことができる。また、発展的な問題に取り組み、積極的に解くことができるよう努力する。 【主体的に学習に取り組む態度】 課された課題などに積極的に取り組む。授業に積極的に取り組み、様々な内容に興味関心を持つことができる。また、それらにより深い理解を達成することができている。	○	○	○	18
	定期考査		○	○		1	
	不等式の性質 一次不等式 絶対値を含む方程式・不等式 命題と条件 命題とその逆・裏・対偶	不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】 各項目についての基本的な内容を理解し、例題レベルの問題を解くことができる。 【思考・判断・表現】 各項目の応用例題レベルの問題を理解したうえで、問題を解くことができる。また、発展的な問題に取り組み、積極的に解くことができるよう努力する。 【主体的に学習に取り組む態度】 課された課題などに積極的に取り組む。授業に積極的に取り組み、様々な内容に興味関心を持つことができる。また、それらにより深い理解を達成することができている。	○	○	○	20
定期考査		○	○		1		
2 学 期	関数とグラフ 2次関数のグラフ 2次関数の最大・最小 2次関数の決定	2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。2次関数のグラフを通して関数の値の変化を考察し、2次関数の最大値や最小値を求めることができるようにする。	【知識・技能】 各項目についての基本的な内容を理解し、例題レベルの問題を解くことができる。 【思考・判断・表現】 各項目の応用例題レベルの問題を理解したうえで、問題を解くことができる。また、発展的な問題に取り組み、積極的に解くことができるよう努力する。 【主体的に学習に取り組む態度】 課された課題などに積極的に取り組む。授業に積極的に取り組み、様々な内容に興味関心を持つことができる。また、それらにより深い理解を達成することができている。	○	○	○	21
	定期考査		○	○		1	
	2次方程式 2次関数とx軸の位置関係	2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解	【知識・技能】 各項目についての基本的な内容を理解し、例				

	2次不等式 三角比	し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。 また、日常の事象や社会の事象などを用いて、三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。	題レベルの問題を解くことができる。 【思考・判断・表現】 各項目の応用例題レベルの問題を理解したうえで、問題を解くことができる。また、発展的な問題に取り組み、積極的に解くことができるよう努力する。 【主体的に学習に取り組む態度】 課された課題などに積極的に取り組む。授業に積極的に取り組み、様々な内容に興味関心を持つことができる。また、それらにより深い理解を達成することができる。	○	○	○	21	
	定期考査			○	○		1	
3 学 期	三角比の相互関係 三角比の拡張 正弦定理 余弦定理 三角形の面積 データの整理 データの代表値 データの散らばりと四分位数 分散と標準偏差	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現し定理や公式を導く力、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決したりする力を培う。データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力、目的に応じて複数の種類のデータを集集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力を養う。	【知識・技能】 各項目についての基本的な内容を理解し、例題レベルの問題を解くことができる。 【思考・判断・表現】 各項目の応用例題レベルの問題を理解したうえで、問題を解くことができる。また、発展的な問題に取り組み、積極的に解くことができるよう努力する。 【主体的に学習に取り組む態度】 課された課題などに積極的に取り組む。授業に積極的に取り組み、様々な内容に興味関心を持つことができる。また、それらにより深い理解を達成することができる。	○	○	○	20	
	定期考査			○	○		1	
							合計	
							105	